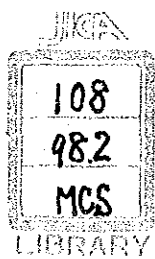


No.

# インドネシア家族計画プロジェクト 巡回指導調査団報告書

1985年2月

国際協力事業団  
医療協力部



医 業
JR
84 - 48

国際協力事業団	
受入 月日 '85. 5. 21	108
	98.2
登録No. 11453	MCS

## 目 次

1. 調査団構成 .....	1
2. 派遣期間 .....	1
3. 今後の家族計画プロジェクト協力についての協議結果 .....	1
4. 日 程 .....	2

### <参考資料>

- (1) プロジェクト活動のあらまし
- (2) 中堅技術者養成対策実施のための追加 R / D
- (3) 関連写真

JICA LIBRARY



1029120[1]

## 1. 調査団構成

団長 中澤幸一 国際協力事業団医療協力部長

団員 田辺耕治 " " 職員

## 2. 派遣期間

昭和 58 年 10 月 12 日～10 月 20 日（9 日間）

日程は、4. に後出。

## 3. 今後の家族計画プロジェクト協力についての協議結果

- (1) 中堅技術者養成対策の実施：57 年度分予算は、繰越予算となっているが、為替レートの改定により、実施には約 3,000 千円不足している。①この不足分を何とか配慮してもらいたい、②また 58 年度予算分の実施については、イ国 83 年度予算は日本側の言う繰越分の Counter Budget として使用してしまい予算措置できないため、来年度合わせて実施してもらいたいとイ側より要望がなされたため、これを了承した。年度予算と実施との関係は次のとおりとなる。

(予 算)	(実 施)
57 年度予算（58 へ繰越）	—
58 年度予算 ± 3,000 千円 ± 6,000 千円（59 へ繰越）	58 年度実施予定
59 年度予算 ± 9,000 千円	59 年度実施予定

- (2) 研修員の受入れ：58 年度に、5 名のカウンターパートの研修を予定したいとの要請があったが、A2・A3 フォームを早急に提出することを勧告する。
- (3) 今後の協力内容：イ側としては、現行 R/D による協力は、機材供与面からみても充分であり、全国的 F/P プログラムへの参加者も拡大しており、59 年度末で完了してもよいという趣きである。しかしながら、その後は、長官自身計画している ① Human Reproduction Center/H.R.C. および ② F/P Training Center 構想、特に H.R.C. に対する協力（当初は無償による建物・資材中心＋プロ技協）を日本に要請したいとの考えを強く表明していた。

当方としては、今までの協力の実態からして、F/Pの啓蒙機関である、BKKBNがH.R.C.のようなセンターを持つことは、人的面から言って疑問あると述べると、イ側はWHOのプログラムにもあり、イ国内他大学とも協力してゆくつもりであると述べた。

日本側としては、H.R.C.はともかくとして、現行R/D完了まで1年余のみであるところ、機材供与中心の協力をサマライズすることにしたい旨述べる。

但し、長官の意向は上述のようであるが、ジャカルタ州のBKKBD局長Dr. Cholirとしては、現行の15郡におけるPilot Projectの他に、今後残りの15郡(ジャカルタは全30郡)もPilot Projectとして協力対象地域にしてもらいたいとの意向を漏らしていた。

#### <収集資料>

Basic Information on Population and Family Planning Program : 1982, Jakarta, BKKBN., (変A4, 137P) 1部

## 4. 日 程

- 10月12日(水) ・田辺団員成田発ジャカルタ着。
- 13日(木) ・中澤団長(10月10日～10月12日北スマトラ・プロジェクト会議参加)と合流。
  - ・ジャカルタ事務所猪俣所員、小櫃専門家と日程等打合。
  - ・BKKBN本部にて、Haryono長官他と協力方針等協議。
- 14日(金) ・看護学校視察(インドネシア看護教育プロジェクト)。
  - ・TVR1 Jakarta(イ国営TV局)訪問。MPC視察。
- 15日(土) ・BKKBD DKI-Jaya訪問。局長Dr. Cholir 他と協力内容について協議。
- 16日(日) ・ジャカルタ発メダン着(移動)
- 17日(月) ・BKKBD SUMUT(北スマトラ州BKKBD)訪問。
  - ・北スマトラ州衛生部訪問。
  - ・メダン発パラパット着。
- 18日(火) ・パラパット発インドラプラ他北スマトラ地域保健対策プロジェクトエリア視察。
  - インドラプラ保健所, プルブック(マラリア対策), リマウ・スンダイ(共同井戸), タンジュン・ムダ, メダン村経由メダン着。
- 19日(水) ・メダン発シンガポール着。溝淵所長と打合せ。
  - ・カンダン・クルバウ産科病院訪問。専門家派遣について打合せ。
- 20日(木) シンガポール発成田着。

## 参考(1) プロジェクト活動のあらまし

### 1. ジャカルタ特別州概要

#### 1.1. 行政区

第1級行政区(州)	DKI Jaya ( Jakarta )
第2級行政区(市)	5 Kota
第3級行政区(郡)	30 Kecamatan
第4級行政区(村)	236 Kelurahan
(郷)	2,200 R.W ( Rukun Warga )
(隣組)	10 ~ 15 RT ( Rukun Tetangga ) / 1 R.W.
(世帯)	30 ~ 40 KK ( Kepala Keluarga ) / 1 RT

#### 1.2. 人口(1980年人口調査)

650万人(1983年は700万人)

年増加率4%(1.7%は社会増, 2.3%は自然増)

死亡率1.1%, 出生率3.4%

5市の中では人口増のバラツキあり, 中央ジャカルタ市は減少している。

### 2. 家族計画活動

F/P Clinic 合計350ヶ所(内280ヶ所約80%が公立のもの)(最低1村に1ヶ所はある)

F/P Field Worker 計462人(公務員で, F/Pの啓発・宣伝を行なう。中学卒, 3 weeksの研修は受けている。約1/4は男性)これらのField Workerを, 30人のSupervisorが監督している(1 Supervisor/1 Kecamatan)。

Volunteer: R.W. レベルでは, PPKBと呼ばれるボランティアが活動。

### 3. プロジェクト関係活動

3.1 Pilot Project Area: 30 Kec. (郡)のうち, 15 Kec. が選定されているが, これは, 3 Kec./Kota (市)の割合で, 人口密度が高いKec. などを選定したもの。目的は, F/Pサービスの向上, IEC活動の強化。

3.2 I.E.C. 活動: 15 Video Corder 使用している。問題はVideo Filmが不足していることで, 今後は増やすべき。

3.3 Medical Service については, 国の予算で機器を整備し, トレーニングも実施した。

参考(2) 中堅技術者養成対策実施のための追加R/D

SUPPLEMENTARY NOTE ON THE RECORD OF DISCUSSIONS  
BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM  
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT  
OF THE REPUBLIC OF INDONESIA ON THE JAPANESE  
TECHNICAL COOPERATION FOR THE JAKARTA URBAN  
FAMILY PLANNING PROJECT.

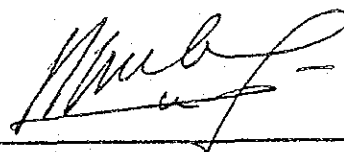
The JICA JAKARTA OFFICE of the Japan International  
Cooperation Agency (hereinafter referred to as JICA) had  
a series of talks with the authorities concerned of the  
Government of Indonesia.

As a result of the talks, JICA JAKARTA OFFICE and the  
Indonesia authorities concerned agreed to recommend to their  
respective Governments to add the matters referred to in  
the document attached hereto to the Record of Discussions  
between the Japanese Implementation Survey Team and the  
authorities concerned of the Government of Indonesia on the  
Technical Cooperation for the Family Planning Project signed  
on 28th January, 1982 at Jakarta between Mr. Tameyoshi  
KATAGIRI and Dr. Haryono Suyono.

Jakarta, September 16, 1983



Mr. HIROSHI YAMAMURA  
Resident Representative,  
Japan International  
Cooperation Agency (JICA)  
Indonesia.



Dr. Peter Patta Sumbung  
Vice Chairman  
National Family Planning  
Coordination Board (BKKBN)

## XI. PROVISION OF SPECIAL MEASURES

1. For fostering the smooth promotion of the Project, in accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to finance a part the following expenses for the Middle - Level Trainees' Training Program in Indonesia :

- (1) Travel Allowance for Participant,
- (2) Expenses for Preparing Teaching Materials,
- (3) Travel Allowance for Practical Training,
- (4) Materials for Practical Training,
- (5) Travel Allowance for Instructors' Field Tour,
- (6) Fee for Special Instructors,
- (7) Travel Allowance for Participants' Returning to Their Respective Residential Places.

2. The amount of the above-mentioned financing through JICA will be reduced step by step in parallel with the self-help efforts on the Indonesia side which will continue to be increased every year during this cooperation period.



参考(3) 関連写真



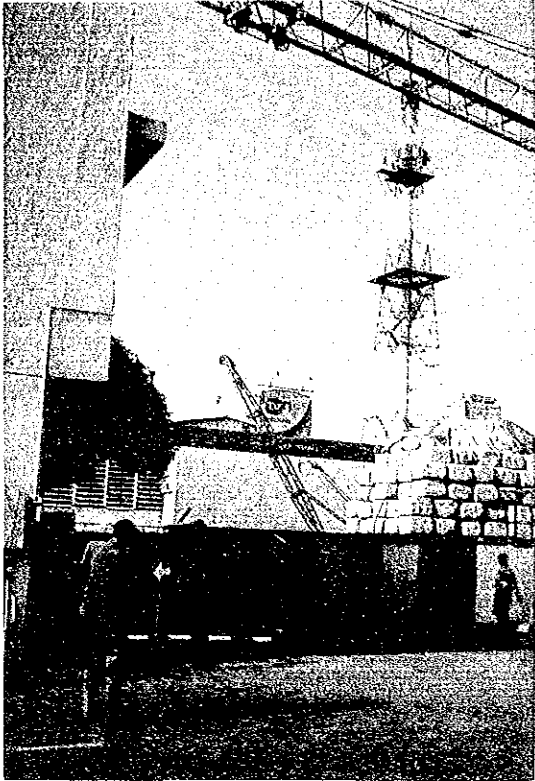
上左：BKKBN本部ビル

上右：ジャカルタ特別州BKKBN  
事務所

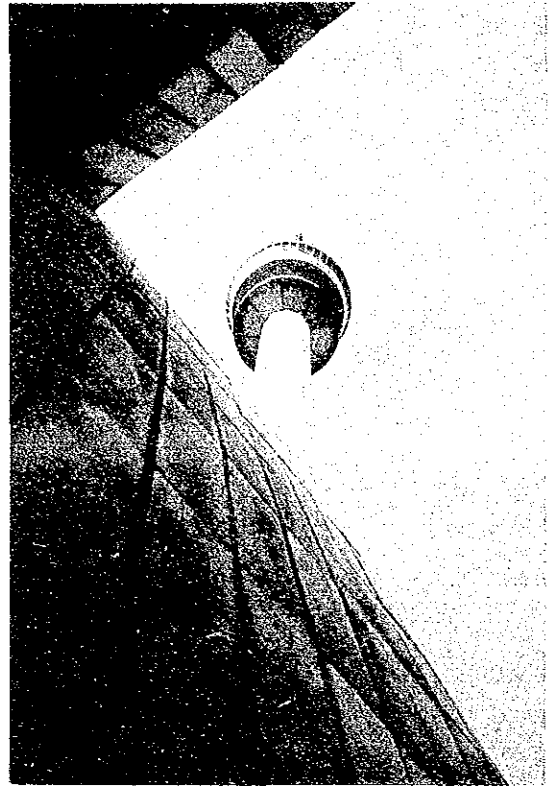
右：ジャカルタ特別州BKKBN  
に併設されている訓練所



TVRI (右は旧テレビ塔)



TVRI 新テレビ塔



TVRI内MPC.スタジオ(1)



同左(2)

供与機材のミニバス



北スマトラ州BKKBN

事務所







